



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第313号

2010年1月16日

みなさん、こんにちは。先日は雪がちらつき、冬らしい気候になりました。少し気温が上がる日もありますが、もう少しすれば、大寒。一年で最も寒い時節です。

● 作品、こぼれ話

開催中の『中島由夫展』。昨年11月に帰国されてから、イベントに合わせて、横浜から明石へ、中島先生がいらっしゃいます。来られると、絵を描いたり、描くための準備を整えたり、図録やポスターにサインをしたり・・・常に動きまわっている中島先生。今回は、その合間に先生がお話くださった作品のエピソードをご紹介します。

北入口に入って、最初の作品「鎮魂」。震災で犠牲になった6千人余の人々を作ろうと思ったという作品。たくさんあるひとつひとつに顔が刻まれています。すぐ奥には、震災の年に描かれた「The Sun」や震災翌年に行われた個展の際、制作された巻物状の作品があります。

特別展示室に入って左、大きな画用紙に描かれた5枚の作品。力強く勢いのある筆致で十字架にかけられたキリストの思しき人物・太陽などを描いた、「人に作品を見せるのが恥ずかしかった」という十代の頃の作。2階の「My Love, My Green」は、長男アンデスさんが生まれた頃に制作され、買い戻した作品。同じ並びに展示されている「Akashi」は、中島先生の明石時代の作品です。

70歳を間近にしてもパワフルな先生。なお、作品は増えてゆきます・・・現在に至るまでの作品の変化を、展示室でじっくりご覧ください。



「鎮魂」(手前)と「The Sun」(奥)

● 2月の恒例イベント

■ 十二単・鎧・衣冠の着付

2月13日(土)、2月28日(日)

① 午後2時～ (十二単1名、鎧1名) ② 午後2時40分～ (衣冠1名)

十二単、鎧、衣冠1名ずつ着付体験ができます。十二単と衣冠は同じ時間帯には体験できませんので、ご了承ください。受付開始 2月1日(月)午前9時～ 電話受付

■ さおり織りでティーマット

2月13日(土) 午前10時～午後3時 (おひとり30分ずつ、12時台は、なし)

費用:200円 受付開始 2月1日(月)午前10時～ 電話受付

